

令和2年度

仙台市ガス事業会計決算説明資料

(令和3年第3回定例会)

1. 決算の概況
2. 事業実績表
3. 予算決算比較表
4. 建設改良事業の概要

仙台市ガス局

1. 決算の概況

本市のガス事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、市民の生活様式や社会経済の状況が様変わりしていく中、企業使命でもある安全で安心なガスの安定供給に取り組むとともに、需要家戸数とガス販売量の拡大に努めました。

事業実績につきましては、年度末の需要家戸数は345,188戸（都市ガス343,683戸、プロパンガス1,505戸）と、他エネルギーとの競争や住宅着工件数の減少等により、前年度に比較して165戸の減となり、また、ガスの販売量は302,404千 m^3 （都市ガス273,237千 m^3 、プロパンガス425千 m^3 、液化天然ガス28,742千 m^3 ）で、新型コロナウイルス感染症の影響等により、前年度に比較して2.3%の減となりました。

収支の状況につきましては、収入の面では、販売量が減少したことに加え、原料費調整により販売単価が下落したことでガス売上が減少し、収入全体では前年度に比較して10.7%の減となりました。

一方、費用の面では、世界的な景気後退に伴う原料価格の下落等により売上原価が減少し、費用全体としても前年度に比較して13.5%の減となり、差引34億3千6百万円の純利益（消費税及び地方消費税抜き）となりました。

設備投資につきましては、経年管の入替えを着実に推進したほか、さらなる安定供給の確保を図るため供給監視システムの更新を進めたことなどにより、総額27億4千8百万円の建設改良費を執行しました。

営業面につきましては、家庭用では、お客さま宅への訪問巡回とともに住宅メーカーや不動産会社への提案営業を実施し、ガスの利便性PR等による機器買替えや新築時、リフォーム時の都市ガス採用の拡大に努めました。また、業務用では、機器の新設や更新等の時機を捉えて、ガス空調やコージェネレーションシステム等の導入提案を行うなど、業種業態別の営業展開を図り、新規需要の獲得と他燃料への離脱防止に取り組みました。

以上が決算の概況であります。今後とも、ガスの安定供給を通じて快適な暮らしと満足をお届けするとともに、変化の著しい事業環境により迅速かつ弾力的に対応できるよう事業の民営化を進め、ガス事業がお客さまに選ばれ続け地域社会とともに発展していくことを目指してまいります。

4. 建設改良事業の概要

(単位 千円)

事業名	令和2年度 事業費	主たる事業
製造設備整備	65,667	<ul style="list-style-type: none"> ・機械装置 港工場第一変電室100V直流電源装置更新工事ほか
供給設備整備	2,659,987	<ul style="list-style-type: none"> ・導管 虹の丘四丁目地内低圧支管入替工事(その1) 川平四丁目地内低圧支管入替工事(その1) 泉パークタウン第6住区中低圧本管工事ほか ・建物 供給管理棟東庁舎冷却塔外更新工事 ・構築物 南光台2丁目整圧器外構工事ほか ・機械装置 ガス供給監視システム子局更新工事(令和2年度)ほか ・ガスメーター ガスメーター M3 40号ほか ・車両運搬具 軽貨物自動車
業務設備整備	12,856	<ul style="list-style-type: none"> ・建物 技術センター屋上防水工事ほか ・機械装置 技術センター第1実習室ホイスト更新工事
附帯事業設備整備	9,547	<ul style="list-style-type: none"> ・機械装置 港工場出荷設備トラックスケール計量指示部更新工事ほか ・導管 供給管取出工事
計	2,748,057	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。